

# 東大和三中だより

令和元年6月10日

6月号(No.3)

発行 東大和市立第三中学校

〒207-0016 東大和市仲原2-7

TEL 042-564-5411

## 「心のアンテナ」を高くする

東大和市立第三中学校長 井上 敬夫

6月1日(土)に行われた体育大会では、今年も印象的な場面がたくさんありました。例えば、学年ごとの全員リレーでは、クラスごとに走順に工夫を凝らして、足の速い生徒はバトンの受け渡し場所を後ろに設定して、走るのが苦手な生徒の負担をできるだけ軽くするようにしたり、クラスメイトの走る姿に大きな声で声援を送ったりしていました。用具係は、競技の準備を円滑に行うために、小走りで準備をし続けました。それも自分が参加する競技を終えるとすぐに用具係としての仕事に取り組んでいました。特にハードル走やアトラクションレースの準備は、気を利かせながら頑張っている姿を覚えています。

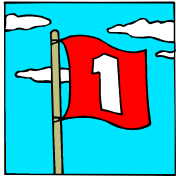
このように、運動の得意不得意に関係なく、自分ができることを一生懸命に行う生徒たちの姿をたくさん見られたのが嬉しかったです。また、そのような一人一人の誠実な行為の積み重ねが、充実した体育大会につながったのだとも思い返しています。

ところで体育大会当日、私は、記録係として競技中の生徒たちの様子や係活動がんばる生徒、座席で応援する生徒、入場門で待機する生徒などを撮影していました。カメラ越しの三中生の表情は、どれもキラキラと輝いて見えました。長距離走で苦しそうな表情で走る姿も、得点係として黙々と記録する姿も等しく生き生きとしているように感じたのはなぜでしょうか？

思うに、選手種目で一生懸命に走るのは、負けたくないという思いと同時にクラスのポイントを担っている責任感からでしょう。係活動に集中するのは、体育大会を支えている責任感や自負からです。自分の行為が誰かのためになっている、という自覚が、前進する活力になり、生き生きとしているように感じるのです。

「自分は人の役に立っている。」と感じる経験を積み重ねていくと、すごく自信になります。自信をもつとさらに前向きに生きていくことができます。そんな小さな成功体験を日々の生活の中で積み上げて行って欲しいのです。そのためには、日常生活のちょっとしたことに喜びを見いだせる感性(=心のアンテナ)が大事になってきます。

「心のアンテナ」を高くする。自分に自信をもつためには必要な心構えと言って良いでしょうね。



# 体育大会特集

6月1日（土）晴、「令和元年 新しい歴史を刻め」のスローガンのもと、第48回体育大会が盛大に行われました。熱いご声援、ありがとうございました。



校旗をもった生徒会長を先頭に堂々と入場行進をしました。気合みなぎる勇姿です。



準備体操では、今年も東大和市ラジオ体操会連盟の方々に模範演技をしていただきました。



3年男子100M走。迫力ある競り合い。



午後の学年種目の様子。左から、1年「いかだ流し」。2年は、新種目の「ストームカウボーイ」。そして、3年は伝統の「大むかで」。どの種目も、声と心を合わせて、どれだけ練習に真剣に取り組んできたかが勝敗を左右します。



係の仕事ぶりを紹介します。ハードルをセッティングする用具係は、スピードと正確さが売り物。放送係は、選手の紹介や競技の説明などを的確に伝え、場を盛り上げてくれました。



東三会の方々や、PTAの役員及び委員の皆様は、朝から自転車の整理や受付、見回りや正門の立ち番などをしてくださいました。多くの方の支えがあってこそ、体育大会の成功です。

## 放課後の学習環境

6月5日（水）の放課後、「地域未来塾」が始まりました。これは、東京都の施策の一つで、大学生や教員OB等の地域住民の協力で、学習習慣の確立や基礎学力の定着のため、放課後などに子供たちの学習を支援する取組です。三中では、そこに塾との連携を加え、事前に診断テストを実施、その結果をもとに個人に合ったテキストを編集、塾のカリキュラムに沿った指導をおこなっています。1学期は、2年生が対象で、数学に9名、英語に16名が参加し、講師の支援を受けながら、問題練習を進めていきます。9月までの全8回、本気でがんばる生徒たちを応援していきたい。なお、9月の終わりからは3年生、1月からは1年生で実施する予定です。



また、火曜日と木曜日には、「放課後自習教室」を開室しています。これは、静かに学習に取り組める場所を提供することが目的で、昨年度の生徒総会における要望が実現したものです。生徒は、宿題や問題集など、自分の課題を視聴覚室に持ち込み、勉強を進めます。そこには、「学力向上担当教師」がついて、簡単な質問に答えたり、進路の相談に乗ったりしています。現在は、毎回数名程度の参加しかありませんが、テスト前になると、30名を超す生徒が参加します。自宅では、ゲームやスマホ等の誘惑に負けてしまって勉強に集中できないという人、ぜひ利用してみてください。



**保護者及び地域の皆様、「地域未来塾」、「自習教室」とともに、講師の方を大募集中です。特に、未来塾は講師の数が多く、手厚い支援が可能になります。内容は、小6～中1の学習内容の基礎です。お知り合いの方でもけっこうですので、副校長までご相談ください。（6月7日に募集チラシを配布しました。）**

## ユニセフ募金

おかげさまで、計1,722円が集まり、6月3日に郵便局からユニセフ協会に振り込みました。このお金で、右のような支援物質を購入することができます。引き続き、学校募金を受け付けていますので、お金を持ってきた人は、副校長まで届けてください。



【いくらでどんな支援物資を購入できるのかな？】

【100円でできること】

	ポリオから子どもを守るためのワクチン	6回分
	（ポリで体から水分がなくなると、命を失うことを防ぐ）経口補水塩	14袋
	ビタミンAのカプセル	100錠

【100円がいくぶんおつまると】

	1箱で4〜5リットルの水をきれいにする事ができる薬 1000錠	400円
	子どもを寒さから守る大きめのフリース製毛布1枚	539円
	マフィアの原虫となる蚊から家族を守る、殺虫剤処理をした長期間使える蚊帳3枚	648円
	スケッチブック10冊とクレヨン（8色入り）10セット	1,357円
	熱に強いワクチンを運ぶのに必要な保冷箱1箱	1,776円
	緊急事態の中でも、40人の子どもが勉強できる必要最低限の学用品と教材のキット1セット（スクール・イン・ア・ボックス）	18,047円

（2019年1月現在の価格）  
×輸送や配布のための費用は含まれていません。

## 「三中日記」より

5月13日（月）1年



## 新しい授業の形を取り入れる。

1年生の数学の授業の様子です。

課題を各自が自分のペースでこなしながら、お互いが相談したり、黒板の資料を参考にしたりしてまとめている場面です。

ノートのまとめ方などのフォーマットは、生徒に提示してあるので、それぞれが自分の進度に従ってまとめることができます。自学自習の姿勢が育つことを期待しています。

1年生ですから、はじめが肝腎。

6月7日（金）3年



3年生の国語の研究授業を行いました。今年度は、本校の先生方が1年に1回は研究授業を行うことになっています。その第1弾です。

単元は「俳句の鑑賞」です。高浜虚子<sup>たかひまきよし</sup> 作の俳句の季語として「春風」「夏風」「秋風」「北風」の中から一つ選択させて、生徒にその根拠を述べさせる話し合い活動を取り入れていました。

正解はどれかよりも、「なぜそう思ったのか」が重視される授業で、生徒たちの意見も興味深かったです。